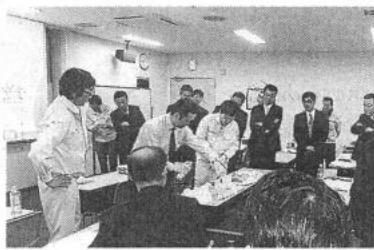


最新技術に理解深める

福井県コンクリート診断士会

研修会に約70人

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）



は12日、福井市手寄のア

オッサで第90回の研修会

として「賛助法人による

最新技術発表会」および

パネルディスカッション

「続 コンクリート構造

物の劣化をどう診るか

リベンジ編」を開催し、

約70人が参加した。

冒頭、石川会長は、同

診断士会の取り組みなど

の紹介を交え、あいさつ

した。

研修会では、宇部興産

の橋村雅之氏による「U

BEリニューアル商品を

用いた海岸構造物の補修

事例」、AC構造検査の

山田祥太郎氏による「現

場で使用できる浸透探傷

試験」＝写真、ナカボー

テック大阪支店の榎田淳

二氏による「棧橋構造物

への電気防食適用につい

て」、ポゾリス ソリュ

ーションズの塩田俊之氏

による「コンクリートに

良好な表面含浸工法」、

松浦の後藤光宙氏による

「シリコーン粘着シート

を使用したコンクリート

構造物の保護」の5件の

最新技術の発表が行われ

た。中には実演を交えた

発表もあり、参加者は熱

心に耳を傾け、最新技術

に理解を深めた。

また休憩を挟み、コー

ディネーターを石川会長

が務め、山川博樹副会長

らがパネリストとして参

加した。パネルディスカッ

ションが開催され、白熱

の議論が交わされてい